

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 10月 21日

派遣者氏名（専門分野）	林 葉子 （ 女性史 ）
-------------	--------------

派遣期間	2012年 7月 20日 ～ 2012年 9月 20日
------	-----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
イギリス	ロンドン	The Salvation Army International Heritage Centre

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

The Salvation Army International Heritage Centre は、救世軍（The Salvation Army）本部の資料室（図書館、兼、文書館）である。イギリス国内の救世軍の情報を中心に、世界中の救世軍の情報が集められている。英語の資料が中心だが、それ以外の言語（日本語を含む）の資料も多数収められている。ただし、日本語の資料に関しては、本センターよりも山室軍平記念救世軍資料館（東京都杉並区）の方が、収容量が多い。

本センターは、William Booth College の中にあり、William Booth College は、最寄り駅（Denmark Hill station）のすぐ近くにある。

本センターを利用するには、事前の予約が必要である（メール可）。派遣者は、センター所蔵の資料の閲覧を希望するということと、利用目的、および利用希望日を記したメールを、本センターに送付した。それへの返信として、資料の利用を認めるメールを受け取った。

William Booth College の入退館の際には、入口を入ったところの受付で簡単な手続きをし（利用者の氏名、連絡先、利用目的、入館日時等を所定の用紙に記入）、三階に移動する。三階にも受付があり、そこで閲覧したい資料の申請を行う。図書館になっている部屋は文書館を兼ねており、隣に博物館がある。

本センターの図書館（文書館）や博物館は、いずれも救世軍に関する情報に特化したものなので、スペースはあまり広くないが、資料はよく整理されている。

資料の閲覧は、口頭で申請する。図書館には閲覧用の机が一つ（椅子は二つ）と、マイクロフィルムリーダーが一台あり、資料はそこで閲覧する。古く貴重な資料を見る際には、専用のスポンジの台を用いて閲覧する。

図書室には、手荷物を持ちこむことができ、ロッカー等に預ける必要はない。ノートパソコンやカメラの使用は認められている。ペンの使用は不可で、鉛筆の使用は認められている。閲覧場所は明るく、閲覧用の机にはライトも設置されているので、カメラでの撮影の際に便利である。マイクロフィルムの資料は印刷が可能だが、印刷する場合は、一枚ごとにプリント代が必要である。

【付記】 The Salvation Army International Heritage Centre の利用にあたっては、山室軍平記念救世軍資料館から事前に情報を提供していただきました。この場を借りて、お礼を申し上げます。